

第3回西区まちづくり懇話会（要旨）

1 日 時 令和5年（2023年）12月25日（月）14時～

2 場 所 西部公民館2階A会議室

3 出席委員（6名）

川副委員、清川委員、浦郷委員、上村委員、稲田委員、本田委員

4 議事（要旨）

●議題1 第2回まちづくり懇話会ワークショップ

（稲田委員）

学生参加のワークショップは初めて。貴重な経験をさせていただいた。

「金峰山系エリア」などの魅力を発信するというテーマで年齢・世代でそれぞれ違う目線を持っていると感じた。1つの概念に対し皆さんの考えを出し合える場ってというのは意義があるものと感じました。

（上村委員）

自治会の方々と一緒となって、「有明海沿岸エリア」のことを考えるということは初めての経験でした。参加していた高校生から「豊かな自然」というキーワードをグループ内で共有しました。この豊かな自然を基礎に地域住民も楽しみながら、地域外の人にも足を運び地域の魅力を実感できる場所があればいいよねと話しました。

同じ地域に住む人であってもなかなか交流が出来ないのが現状ですが、いろいろな方と話をしていく中で若い人の意見のほうが柔軟性が、どうしても大人たちは固定観念に縛られて新しい発想がなかなか出来ない。やはりこれからのまちづくりは若い人が楽しめ、「この町に住んでよかったな」とか、「自分の将来もここで過ごせたらいいな」などを感じて貰えるよう継続していく必要性を感じました。

（本田委員）

私は「西部エリア」に参加して、中高生がメンバーの中に入っていたことは大変評価できると思います。彼らの発想は、有名アーティストを呼ぶとか、あるいはキッチンカーであるとか、食べ歩きなど我々にとっては逆に新鮮に感じました。

エリアは海・山・川など自然豊かなすばらしい地域じゃないかなと思っていますので、もっともっと魅力を発信していけば交流人口の増加などに繋がる場所になるのではないかと思います。

（清川委員）

「上熊本周辺エリア」でも中学生の意見を上手に引き出すような雰囲気をもつていくところから始めました。同じ上熊本周辺エリアでも、池田校区、花園校区、城西校区でそれぞれの特徴がありますのでそれを纏めるのは困難で大変でした。また、エリアが広範囲であることを実感したところです。

ワークショップを通して、まちづくりということに対して普段の生活の中から、「もしかしたら、これが自分たちのまちの魅力なんじゃないか」ということに気付くきっかけになったのではないかと思います。

(浦郷委員)

池田校区では数年前からまちづくり委員会の努力により、ホタルが数多く飛ぶようになったそうです。今年は猛暑によりホタルの減少がありましたが、補助金などを活用してホタルの生育整備をされています。

(松島委員)

エリア毎にそれぞれの魅力を落とし込んでいくと、豊かな自然、農作物、楽しむところ数多くあることなどを実感しました。金峰山系エリアは空に1番近い、きれいな景色と夕陽、熊本駅エリアでは夜景など魅力発信を引き続き行って貰いたい。

(川副会長)

私はワークショップに参加するのではなくて、回遊しながら全体的に各エリアの雰囲気などを確認する立場で参加させていただきました。若い方々が班にどう巻き込まれて、発言され、班の中心となって行く様子を特に注意して見学しておりましたが、最後には若い方々が元気よく班代表として発表する役を担えたことは非常に会としては良かったのではないのかなと思っています。昔は地域で子供たちを教育するという文化が非常に定着していましたが、希薄化により人の教育とかに参加しない時代になってきたと感じます。今回のワークショップで若い人たちに様々なことを教えてあげるのも一つの教育のやり方ではないのかなと私自身は思いました。ワークショップという課題がり、それを通して普段出来ない教育を行えたと感じており、一つ大きな柱になったのではないかと思います。

●議題2 令和5年度まちづくり推進経費事業進捗について

(本田委員)

「西区農水産チャレンジプログラム事業」ですが田崎市場見学体験の応募が130人位あったとのことだが、参加者が16人は少ないように感じる。農業体験も同じように。何か理由があるか？

(事務局)

田崎市場見学体験ですが、市場の中は多くの私道が通っており、市場関係の車両等が行き来しますことから多数の子供たちを引率しますと危険を伴います。安全に事業を行える実施可能数として15名という枠を設定させていただいたところです。

また、農業体験ですが農作物を採取する際、鎌やハサミを使用し、危険を伴いますことから同じく実施可能数を設定させていただいたところです。次回以降、複数回での開催など検討させていただきます。

(松島委員)

高齢化社会の中で、実用的な防災に限らず、地域を対象としたスマホを活用した講習、研修会の

取組みは大事なところと感じております。是非、地域住民の豊かな生活のために、今後とも取り組んでいただきたい。

（上村委員）

こども達をネットの危険から守るというのも高齢者も含め必要な取り組みと感じている。また、従来のスマホ講師からでは無く地域の高校生など地域のこども達による講習会など世代間交流の機会があっていいのかなと思います。

（稲田委員）

地域のこども達が企画の段階から市の事業に関わってもいいのかなと思います。こどもとか地域の学生さんが関わると面白い事業になるのではないかと思います。

●議題3 その他

（事務局）

- ・第4回まちづくり懇談会の開催日について
- ・西区フェスタ 2024 開催日（案）について
- ・懇話会委員について

<終了>